

(株)京写(京都府久御山町)は、1959年に捺染用スクリーン型メーカーとして発足。現在はその技術を応用したプリント配線板メーカーとして、片面板では月産40万㎡、世界の約10%を占める世界最大の生産能力を持ち、国内トップシェアを誇る。

2023年3月期の実績は、売上高が244億円、営業利益が6億7100万円だった。24年3月期については売上高250億円、営業利益10億円を計画しており、営業

利益は過去最高となる見込みだ。ベトナムの新ラインが計画どおりに立ち上がり黒字化していることや、中国拠点と実装関連子会社も好調となっている。また、現在は売上高のうち約6割が海外顧客からであり、為替影響

ストが求められる製品は残るため、今後も片面板の生産は維持していく考えだ。また、自動車向けLEDヘッドライトなどの放熱用途で需要が増加している金属基板は片面板と同じ構造で生産できる。今後もさらなる拡大が期待できるといふ。

一方、片面板の生産も伸長している。24年3月期第3四半期時点の売り上げ比率では、片面板が46%、片面板が41%、実

生産能力は最大で月産4万㎡を持ち、現在は月産3万4000㎡~3万5000㎡という高い稼働率となっている。人件費の高騰を見越し、生産ラインの自動化やIT化を積極的に導入した。

国内には、京都、新潟(新潟市西蒲区)、九州(熊本県玉名市)に工場を有する。九州工場では片面板、京都工場では片面板の多品種少量生産を担い、新潟工場では片面板

地面積は1万4000㎡だが、移転後は約2倍の面積を予定するほか、今後の人手不足などを考慮して、DX、自動化、トヨタ生産方式などを取り入れる。この九州新工場をモデルとしたスマート工場を、各拠点に展開していく計画だ。

人材面では、女性比率は半分ほどを占めており、海外では管理職の過半数が女性となっている。国内でも女性向けキャリアアップ研修なども積極的に進めている。さらに中高年の再雇用については、同じポジションと処遇で働ける仕組みも

片面板で世界最大規模

放熱基板など新技術開発も

で増益となる計画。26年3月期には売上高300億円、営業利益16億円を目標に掲げている。

中長期的には、日本、中国、ASEANで各3分の1の生産比率にしてい

く計画だ。同社の片面板は主にLED照明、エアコン、炊飯器などの家電製品などに採用されている。「プリント配線板の分野において、必ずローエンド向けは残っていくと確信しており、片面板の需要は絶対になくならないと考えている」と代表取締役社長の児嶋一登氏は述べ

た。軽薄短小でなく低コ

装関連の他が13%となり、片面板が片面板を上回った。

21年に生産を開始したベトナム新工場は、車載向け片面板のグローバル拠点として、過去最大となる全体で総額約50億円を投じた。23年8月には第2生産ラインが完成し、これまで中国の提携先で生産していた車載向け片面板を内製化した。

の量産を行っている。九州工場は片面板のメーカーとしての機能を保持し、技術を開発し、インドネシアや、片面板の最大の工場である中国工場へと展開してきたが、古く手狭になっていることに加え、半導体関連の新しい市場などの環境変化が生まれており、これらに対応するため移転を検討している。現在の敷



児嶋一登氏

法と比べて約2倍の生産性でありながら、同等の品質を維持している。中国工場での生産に加え、今後は九州工場でも量産ラインを立ち上げる。

そのほか、電子部品の急速な小型化にも対応できる基板製造技術や金属基板の一種として、パワー半導体向け厚銅基板の開発にも注力している。今後、アプリケーション

地域貢献については、雇用に加え、工場周辺の清掃や学生インターンの受け入れ、ボランティア活動、国内はフードバンク、海外は孤児院、赤十字への寄付など、多岐にわたって行っている。まだまだ認知が少ないことが課題だとしており、今後も地域行事への協賛などに取り組んでいく。

児嶋氏は、JPCA(日本電子回路工業会)の副会長を務めている。今後の基板業界が生き残る道として、「ニッチトップ」を狙うこと、基板メーカー同士で「組む」ことが重要だと述べた。

「JPCAは団結力が高いことも特徴であるため、壁をなくすことで若い経営者の育成や、自社の悩みの共有、後継者不足の課題解消、将来的な合併などを考える機会を増やすことができる」と

児嶋氏。また、「新しい取り組みに積極的である村田製作所などにも入っていたきたい」としている。

京都の魅力については、大学が多く、京都市は大学生の人口割合が1位であるため、ベンチャー企業の立ち上げも起りやすいと考えている。さらに、魅力的な街であり、海外の顧客も来てくれやすいことや、理系の大学も多いため共同開発や産官学の連携も進みやすいと考えている。

(特別編集委員 泉谷渉 / 日下千穂記者)

